

親しみあるひらかれた議会を目指して

桐生市議会 議長 森山享大



謹賀新年

明けましておめでとうござ
います。
市民の皆様におかれまして
は、平成29年の新春を穏やか
にお迎えのことと心からお喜
び申し上げます。
御高承のとおり、今日の社
会情勢は、国の内外とも激変
の中にあつて、私どもを取り
巻く環境も大きく変化してい
ります。各地方自治体におい
ても、人口減少や急速に進行
する少子高齢化、景気回復の
兆しが見えてきたとはいえ依
然低迷が続く地域産業への対
応など、課題はますます大き
くなっております。
そのような中、桐生市にお
きましては、将来を見据えた
長期的な展望に立ち、魅力あ
るまちの実現に向け、思いを
新たにしているところであり
ます。
昨今、全国的に議員の政務
活動費の不正受給問題が大き
く報じられ、議会及び議員の
信頼を著しく損なう事態が発
生しております。桐生市議会
におきましては、これまでも

政務活動費の使途基準や支給
方法などを厳格に取り扱って
まいりました。今後は更に一
層、使途の透明性の確保と適
正な運用に努めてまいります。
また、近年、高い評価を頂い
ております議会改革の取り組
みも、昨年は、市民の声や要
望を実現するため、委員会提
案による条例制定や委員会か
ら市長に政策提言を行うなど、
委員会機能の充実強化を推進
してまいりました。本年も市
民の皆様が一番身近な議会と
して「親しみあるひらかれた
議会」を目指してまいります。
今後も時代の潮流を的確に
捉え、新しい時代における議
会のあり方を真剣に求めてい
くとともに、議会の役割を十
分に認識し、誰もが安心して
暮らせる安全で住みやすい地
域社会をつくり上げていくた
め、全力を傾注してまいり
ます。
どうか今年も市民の皆様の
更なる御理解と御協力を賜り
ますようお願い申し上げます。
新年の御挨拶といたします。

桐生市議会

議長

森山 享大

副議長

小滝 芳江

議員（議席順）

工藤 英人

園田 基博

辻 正男

田島 忠一

渡辺 恒

関口 直久

北川 久人

人見 武男

新井 達夫

岡部 純朗

山之内 肇

周東 照二

伏木 康雄

久保 田裕一

佐藤 光好

佐藤 幸雄

福島 賢一

河原井 始

周藤 雅彦

飯島 英規

誰もが住みたいと思えるまちの実現を目指します

桐生市長 亀山豊文



明けましておめでとうござ
います。
市民の皆様におかれまして
は、つつがなく新しい年をお
迎えのこととお喜び申し上げ
ます。
昨年は、リオデジャネイロ
五輪における日本代表選手の
メダルラッシュに国民が歓喜
に沸き、オバマ米大統領の広
島訪問は、核のない平和な世
界の実現に向け大きな一歩を
記しました。その一方で、東
日本大震災から5年の節目を
迎える中、熊本で再び大きな
地震が発生しましたが、桐生
市としても支援物資や職員派
遣などできる限りの支援を行
い、被災地の一日も早い復興
をお祈りしているところで
す。
さて、桐生市では、昨年3
月に「桐生市まち・ひと・し
ごと創生総合戦略」を策定し、
桐生ならではの地方創生に向
けた取り組みを本格的にス
タートさせましたが、国の動
きに先駆けて取り組んできた
人口減少対策については、最
大200万円を補助する住宅
取得応援事業など実効性の高
い事業が功を奏し、新設住宅
着工戸数は増加に転じ、人口
や世帯数の減少傾向に改善の
兆しが見られるようになりま
した。今後も、目に見える形

での成果を求めながら、「誰
もが住みたいと思えるまち、
誰もが住み続けたいとなるまち
桐生」の実現を目指し、「元気・
安心・未来」をキーワードと
した基本政策に基づく各種施
策を推進してまいります。
元気で活力あるまちづくり
地方創生の中核になる存在
として現在注目を集め、桐生
市の強みである豊富な森林資
源を有効活用できる林業の振
興や、日本遺産を核とした織
物関連の文化財などの活用に
よる、外国人観光客の誘致も
見据えた産業観光の推進など、
今後の成長が期待できる分野
に重点を置きながら、地域の
活性化を図ってまいります。
安心して暮らせる
まちづくり
市民のスポーツ・健康づく
りの拠点であり、有事の際に
は防災拠点にもなる市民体育
館の建て替えに本格的に着手
し、お子さんやお年寄り、障
害を持つ方など、誰もが安心
して安全に利用できる施設の
整備に取り組んでまいります。
また、継続実施の要望が多い
住宅取得応援事業の再構築を
視野に入れながら、空き家対
策も含めた総合的な住宅施策

を推進してまいります。
子供のための未来づくり
妊娠期から子育て期までの
様々なニーズに対して、総合
的な相談や切れ目のない支援
を行うため、保健福祉会館に
おける子育て世代包括支援セ
ンターの機能をソフト・ハー
ドの両面から充実させてまい
ります。また、桐生市の将来
を担う若者の流出を防止し、
定住を促進するため、国の動
向も注視しながら奨学金制度
の見直しを図ってまいります。
みどり市との合併について
は、市長就任以来、一貫して
実現のために取り組んでまい
りましたが、当面、合併に向
けた歩みを進めることが困難
となりました。今後の都市間
連携については、あらゆる選
択肢を視野に柔軟な姿勢で臨
み、桐生市民の生活を最優先
に考える中で、桐生市が将来
にわたって持続可能な都市と
なるために全力を注いでまい
りますので、市民の皆様にお
かれましては、これまで以上
のお力添えを賜りますようお
願い申し上げます。
新年にあたり、皆様のます
ますの御健勝と御多幸を心か
らお祈り申し上げ、年頭の挨
拶とさせていただきます。